

日本工学院専門学校		開講年度2019年度		科目名	コンピュータ・テクノロジー2		
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	システム開発コース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	4単位				授業形態	講義	
教科書/教材	「ITワールド」(インフォテックサーブ)						
担当教員情報							
担当教員	藤本 海艶・東堂 隼平			実務経験の有無・職			有・システムエンジニア
学習目的							
専門学校の目的は各分野の専門技能を身に付けたスペシャリストを社会に送り出すことである。その人材は専門分野に長けていることはもちろん、社会人としての資質も身に付けておく必要がある。本講座では働く意味を明確にし、学生と社会人との違いを認識するとともに、社会人になるための道筋、つまり就職活動の手順と方法を学ぶことが目的である。具体的には筆記試験の問題が解けること、履歴書やエントリーシートが書けること、面接試験に対応できることが目的である。							
到達目標							
本講座の到達目標は基本情報処理技術者試験に合格できることである。 基本情報処理技術者試験のテクノロジー系の出題範囲「ハードウェア」「情報システム」「ソフトウェア」の各分野で、試験問題を理解しその質問に答えられる知識を身に付けることを目標とする。ネットワークでは、ネットワークの種類や構成要素、伝送制御、アクセス制御などについての知識を正しく理解できること。情報セキュリティでは、脅威や脆弱性、サイバー攻撃手法、情報セキュリティ技術などについての知識を正しく理解できること。データベースでは、データの正規化、トランザクション処理、SQLなどについての知識を正しく理解できること。							
教育方法等							
授業概要	ネットワークでは、ネットワークの種類や構成要素、伝送制御、アクセス制御などについて学びます。情報セキュリティでは、脅威と脆弱性、様々なサイバー攻撃手法、情報セキュリティ管理、情報セキュリティ技術などについて学びます。データベースでは、データベース管理システム(DBMS)、データの正規化、トランザクション処理、SQLなどについて学びます。各分野ごとに該当する過去問演習、解説を行う。前回の講義内容を理解し、習得済みであることを前提として授業を進める。理解不足は放置せず、復習してから講義に臨む必要がある。						
注意点	教科書、ノート、筆記用具を必ず持参すること。資格試験は、講義時間の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習をすすめることが肝要である。授業に出席するだけでなく、社会人への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。理由のない遅刻や欠席は認められない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	0%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回)							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	ネットワークと構成要素		ネットワークの種類と構成要素を理解できる				
2回	伝送制御とメディアアクセス制御		伝送制御の種類とメディアアクセス制御方式を理解できる				
3回	OSI基本参照モデル		OSI基本参照モデルとTCP/IPについて理解できる				
4回	IPアドレスとインターネット		IPアドレスとインターネットサービスについて理解できる				
5回	回線に関する計算		回線に関する計算とネットワーク管理について理解できる				
6回	情報セキュリティ		情報セキュリティ 脅威と脆弱性について理解できる				
7回	サイバー攻撃手法		さまざまなサイバー攻撃手法について理解できる				
8回	情報セキュリティ管理		情報セキュリティ管理と情報セキュリティ対策について理解できる				
9回	情報セキュリティ技術		情報セキュリティ技術について理解できる				
10回	DBMS		データベースの特徴とモデル、データベース管理システムについて理解できる				
11回	データベースの正規化		データベースの設計、データの正規化について理解できる				
12回	トランザクション処理		トランザクション処理について理解できる				
13回	データベースの操作		データベースの操作について理解できる				
14回	SQL		データベース言語(SQL)について理解できる				
15回	総まとめ		これまで学んできた内容について思い起こすことができる				